

2021年  
11月

## 県内景況・確報

◎概況

県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

●2021年11月 おきぎん「カトレア」景況図●

## 県内景況



やや悪い

## 個人消費



やや悪い

## 建設関連



ふつう

## 観光関連



やや悪い

## 企業倒産



やや良い

## 雇用状況



やや悪い

11月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

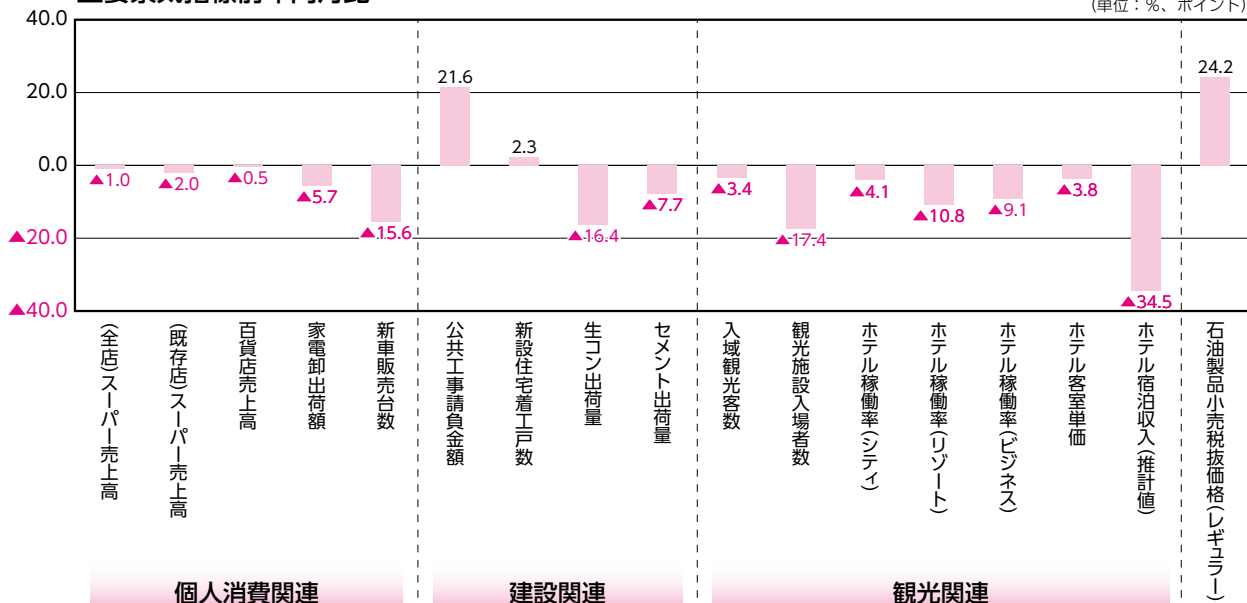
**観光関連**では、入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数においても前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）においても前年同月を下回りました。一方、前年同月差は縮小傾向にあり、持ち直しの動きがみられます。

このような状況に鑑みて、個人消費は緊急事態宣言解除に伴う客足の戻りがあるものの、耐久消費財で供給制限などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は新型コロナウイルス感染抑制や行動制限の緩和などにより、持ち直しの動きがみられます。よって、「**県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、一部に持ち直しの動きがみられる**」と景気判断を上方修正しました。

(上方修正)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





## 個人消費



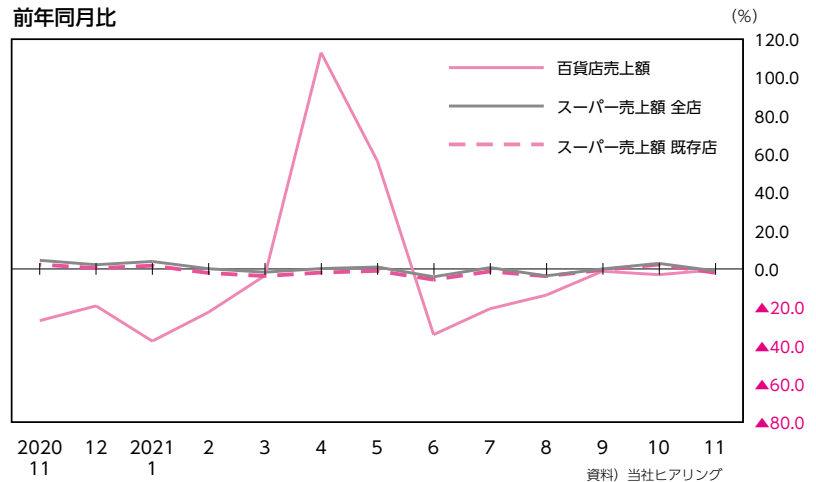
(やや悪い)

### ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

11月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比1.0%減）」は、前年同月を下回りました。品目別では、「家庭用品（同1.8%増）」は前年同月を上回りました。「衣料品（同6.5%増）」は緊急事態宣言解除後の来客増加により前年同月を上回りました。「食料品（同2.2%減）」は前年の巣ごもり需要の反動により前年同月を下回りました。

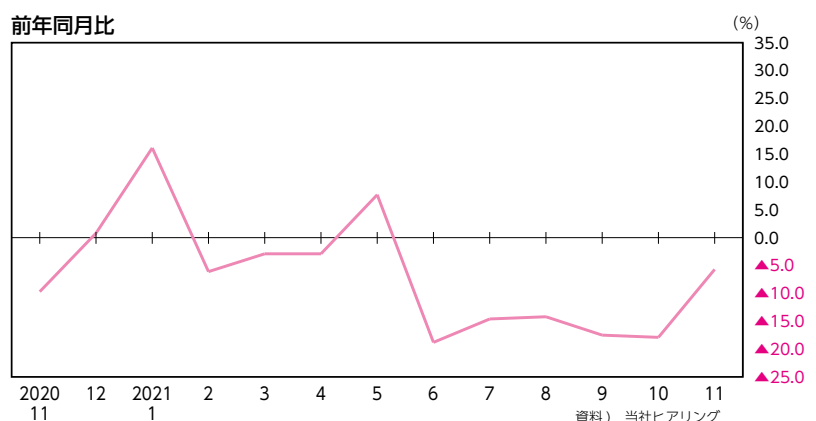
「既存店ベース（同2.0%減）」は、前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同2.8%減）」は、緊急事態宣言解除後、巣ごもり需要の反動により前年同月を下回りました。「衣料品（同5.6%増）」は緊急事態宣言解除後、来店客数が増加したことなどにより前年同月を上回りました。一方、「家庭用品（同0.4%減）」は前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました（同0.5%減）。内訳をみると、「食料品（同6.5%増）」は3ヵ月連続で前年同月を上回りました。ウェイトの高い「衣料品（同8.0%増）」は、緊急事態宣言解除後、ポイント還元企画や人流回復に伴う需要増により「婦人服（同12.8%増）」、「紳士服（同22.0%増）」などを中心に伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、「雑貨（同31.3%減）」、「家庭用品（同34.2%減）」は、売り場面積の減少（テナント化）があり、前年同月を下回ったことから、全体としては6ヵ月連続で前年同月を下回りました。



### ② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は6ヵ月連続で前年同月を下回る。

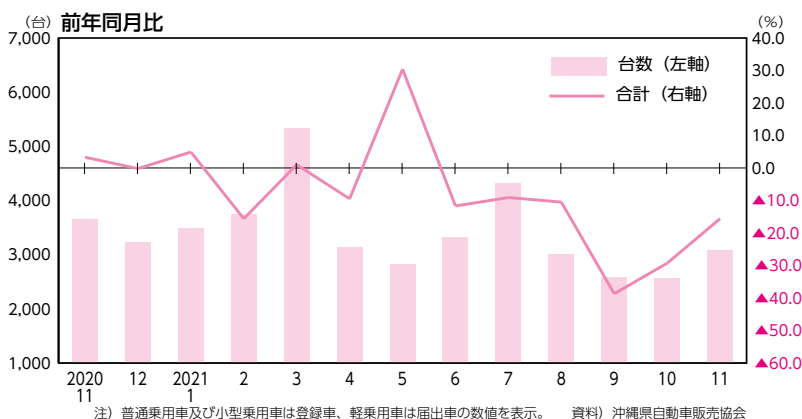
家電卸出荷額は、6ヵ月連続で前年同月を下回りました（同5.7%減）。品目別では、「エアコン（同10.8%減）」、「テレビ（同18.2%減）」は、世界的な半導体不足の影響や生産を行う東南アジア工場のロックダウンが続いていることによる部品不足、昨年の給付金により家電に対する需要がひと段落していることなどから、前年同月を下回りました。



### ③ 新車販売台数…新車販売台数は、6ヵ月連続で前年同月を下回る。

**新車販売台数**は、全体で3,076台（同15.6%減）となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車（同12.8%増）」が前年同月を上回りましたが、「普通乗用車（同6.7%減）」、「軽乗用車（同22.7%減）」において、世界的な半導体不足や東南アジア部品工場ロックダウンに伴う部品納品の遅れが続いていることにより、生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



## 建設関連

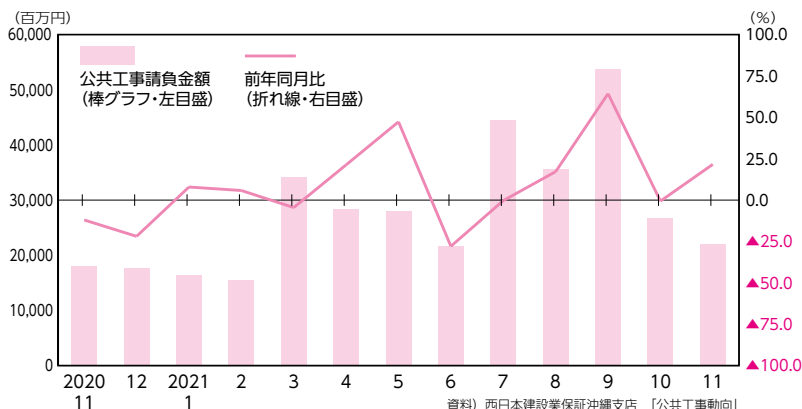


（ふつう）

### ① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

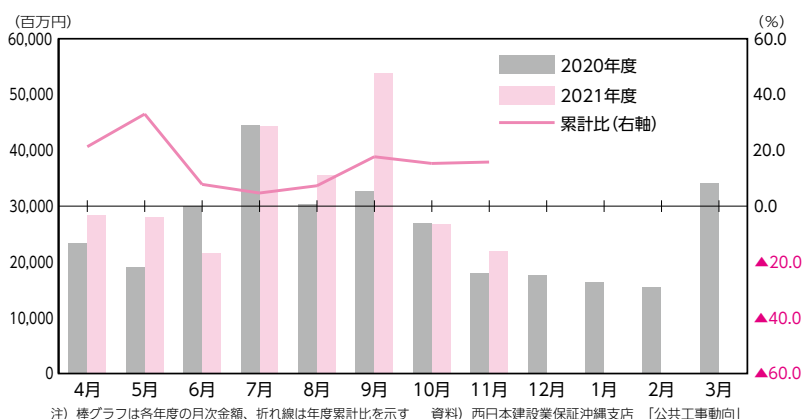
**11月の公共工事請負金額**は、前年同月比21.6%増の219億8,100万円となりました（2ヵ月ぶり増）。

発注者別でみると、「国（同55.2%増）」や「市町村（同38.9%増）」、「その他の公共的団体（同33.3%増）」は前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等（同85.2%減）」や「沖縄県（同32.6%減）」は前年同月を下回りました。



### 【参考】公共工事（年度累計）…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

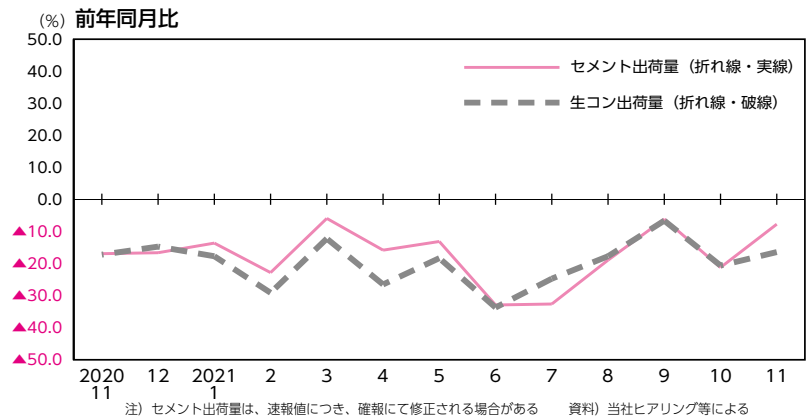
今年度累計値では15.8%増となっております。





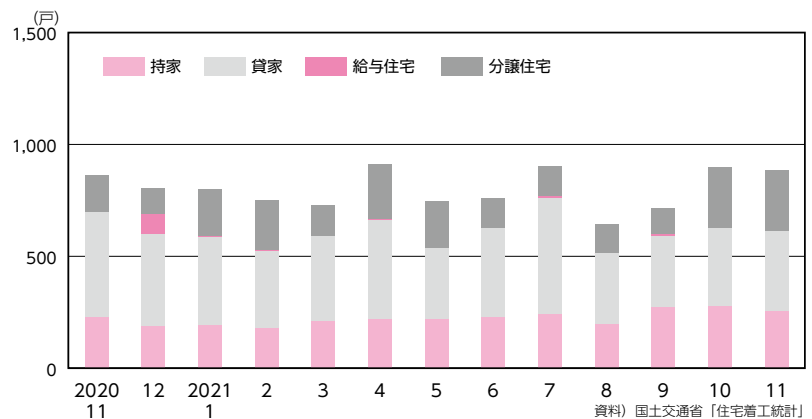
## ② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は16.4%減と22ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より35.4%下回り、民間工事向けは、ホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より3.0%下回りました。**セメント**出荷量は7.7%減と17ヵ月連続で前年同月を下回りました。



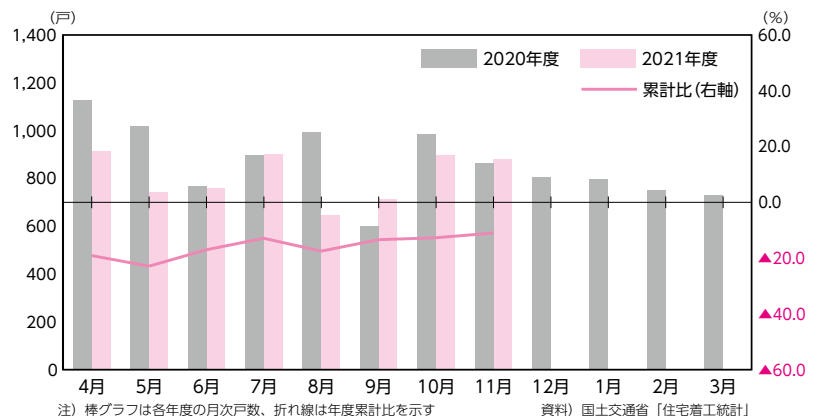
## ③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

**11月の新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比2.3%増の882戸となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「持家 (同12.4%増)」や「分譲住宅 (同63.0%増)」は前年同月を上回りました。一方、「貸家 (同23.8%減)」は前年同月を下回りました。



## 【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、11.0%減となっています。

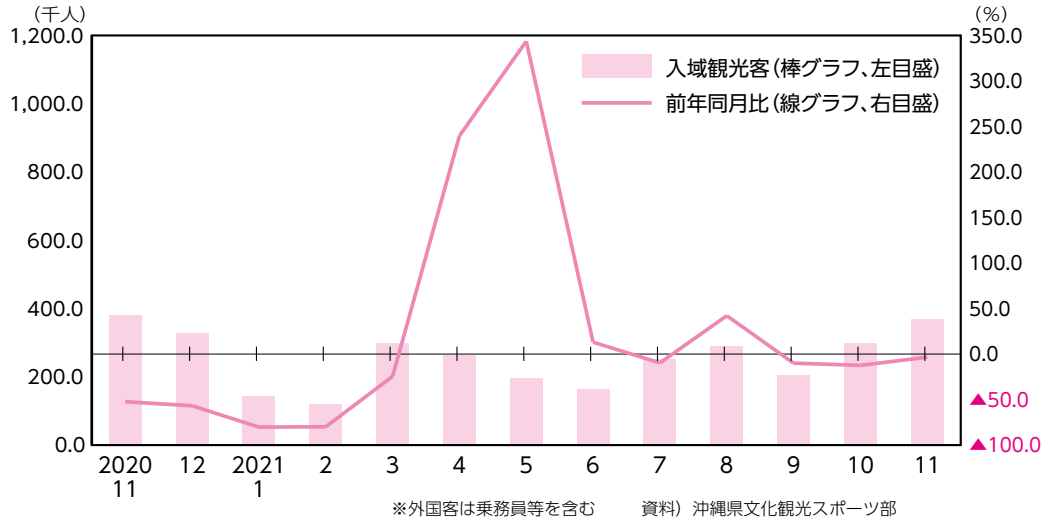


観光関連

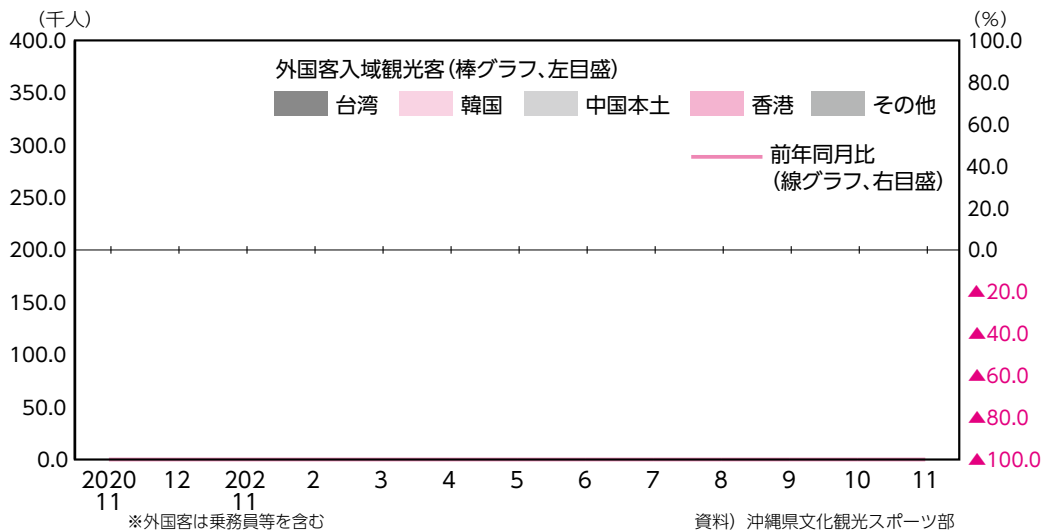


(やや悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…3ヵ月連続で前年同月を下回る。



外国客 入域観光客数…前年同月同様、皆減。



11月の入域観光客数は、13,100人少ない368,000人（前年同月比3.4%減）となりましたが、11ヶ月ぶりに入域観光客数が30万人を超えました。対前年比においては、Go Toトラベル事業（国内旅行者のおよそ3人に2人が同事業を利用）が一時停止されていることなどから、前年同月を下回りました。

前々年（2019年）同月比では431,200人減少（54.0%減）と下回っており、依然として厳しい状況となっています。

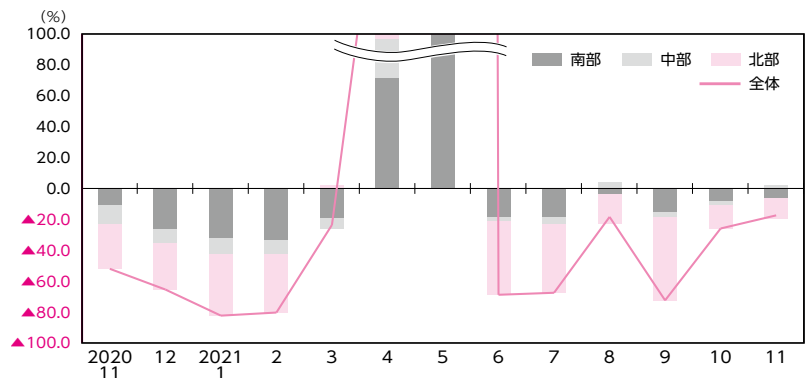
外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。



## ② 観光施設入場者数…6ヵ月連続で前年同月を下回る。

**観光施設入場者数**は、全体では17.4%減となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。県や市町村の需要喚起施策などにて一定の効果があつたものの、前年同月はGo Toトラベル事業の最盛期であることから、前年同月を下回りました。一方、対前年比差は、2ヵ月連続で縮小しています。地域別では、南部の観光施設は16.0%減、中部は31.3%増、北部は24.4%減となりました。中部においては一部施設において、新たな施設の開館があり前年同月を上回りました。

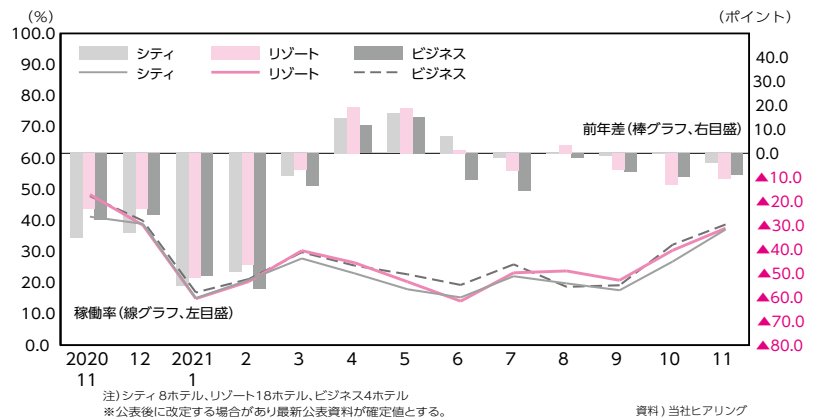
(参考) 前々年(2019年)比では、全体で60.4%の減少となります。内訳では南部にある観光施設は47.5%減少、中部は72.7%減少、北部は63.5%の減少となっています。



## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を下回る。

**県内ホテル稼働率**は、緊急事態宣言が解除され、宿泊需要が回復傾向となるものの、前年同月がGo Toトラベル事業の最盛期であることから、前年同月を下回りました。シティホテルは前年同月比4.1ポイント減少、リゾートホテルは10.8ポイント減少、ビジネスホテルは9.1ポイント減少しました。一方、全てのホテルにおいて稼働率が35%を超え、持ち直しの動きがみられます。

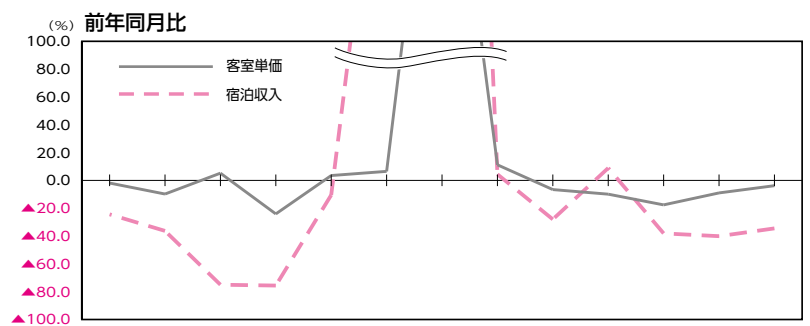
(参考) 前々年(2019年)比では、シティホテルは39.2ポイントの減少、リゾートホテルは33.9ポイントの減少、ビジネスホテルは36.9ポイントの減少となりました。



## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を下回る。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月より3.8%減と5ヵ月連続、**宿泊収入**においては34.5%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

(参考) 前々年(2019年)比では、客室単価は5.6%の減少、客室収入は50.5%の減少となっています。





## 企業倒産

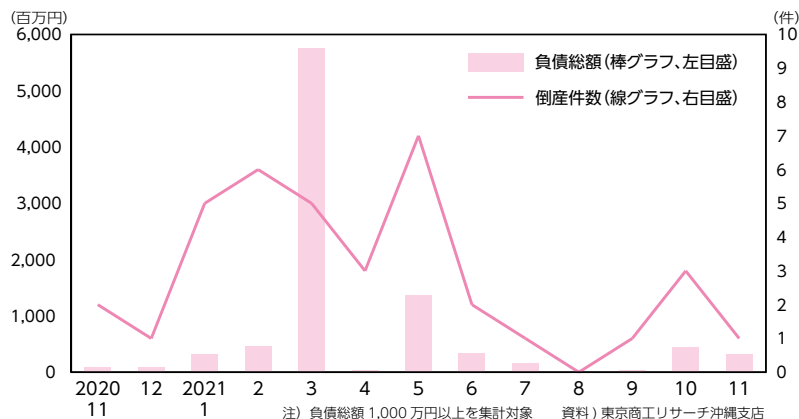


(やや良い)

## 企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

**11月の企業倒産件数**は、1件（うち大口倒産は1件）となり、前年同月より50.0%下回りました。

**負債総額**は3億2,000万円となり、前年同月より267.8%上回りました。



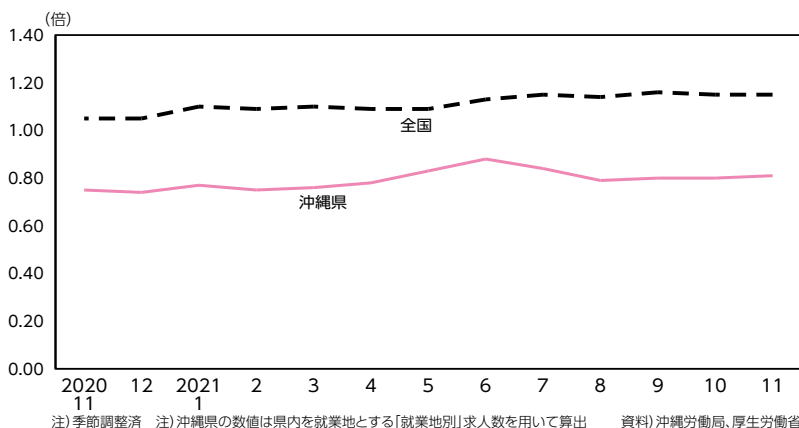
## 雇用関連



(やや悪い)

## ① 有効求人倍率…沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

**11月の雇用状況**は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比0.6%減の25,650人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比1.1%減の31,832人となり、**有効求人倍率（季節調整値）**は0.81倍と、前月より0.01ポイント上昇となりました。



## ② 完全失業率…沖縄、全国はともに前月より上昇。

**11月の完全失業率（季節調整値）**は、3.4%となり前月より1.0ポイント上昇しました。

